

# 1. 通常総会・講演大会

50周年記念式典という大きな行事を迎えた昭和40年度春季大会は、4月5日(月)より4月7日(水)まで3日間東京大学において開催され、ついで見学会は4月8日(木)に行なわれた。

大会では第50回通常総会, 第69回講演大会をはじめ, 前掲の創立50周年記念式典, 祝賀会, 特別講演会などの諸行事が, 好天に恵まれ盛会裡にとどこおりなく終了した。

## 第50回通常総会

4月5日(月) 13:00より東京大学工学部2号館大講堂において, 佐藤理事司会のもとに開会された。

初めに湯川会長より次のような挨拶があつた。今年に本会が大正4年2月に創立されてから満50年を迎え, 記念式典を4月6日挙げる事になった。本会は日本の



挨拶する湯川会長

鋼鉄業と消長をともししており, 終戦直後の混乱期を除いては大体順調な伸長を続け, ことに昭和37年には関係各位の特別な援助により拡大強化が実現され, 事業も急速に発展し内外に権威ある学会として認められるまでに成長した。

今回の記念式典にも, アメリカ, ドイツ, イギリス, フランスなど13カ国から鉄鋼に関する学術, 技術および経営の指導的地位にある方々34名が出席されたが, 近年発展の著しいわが国鉄鋼業を学術技術面で支えている学会として高く評価されたためと思う。

これは歴代会長, 役員ならびに会員諸賢が本会の目的達成のために努力, 精進を続けた賜物であり, 今日わが国鉄鋼業の発展に寄与されたところは誠に大きく, 感銘深いものがある。

本年も, 共同研究会などすでに多くの成果をあげた諸事業を継続することはもちろん, 鉄鋼の標準化, 鉄鋼基礎共同研究など新規事業を強力に推進したい。

次いで議事に入り, 議案第1号「昭和39年度事業報告, 収支決算報告ならびに財産目録承認の件」議案第2号「昭和40年度事業計画ならびに収支予算承認の件」を一括議題として審議に入り, 作井副会長より事業報告, 深堀理事より会計報告について, それぞれ詳細な説明があり, 奥村監事より監査報告があつた後, 第1号議案, 第2号議案とも満場一致をもって承認された。

続いて理事, 監事ならびに評議員の選挙が行なわれ, 下川義雄, 加藤健両選挙管理委員から選挙結果の報告があり, 議事を終えた。

### 理事当選者

荒木 透	伊木 常世	今井 光雄
大中都四郎	海江田弘也	桂 寛一郎
草川 隆次	田畑新太郎	俵 信次
丹羽貴知蔵	松下 幸雄	三ヶ島秀雄
村田 巖	盛 利貞	山本真之助

### 監事当選者

吉崎 鴻造

評議員当選者は省略

## 表彰式

総会終了後, 引き続き長谷川理事司会のもとに表彰式が挙行された。はじめに長谷川理事より表彰規程変更について“本会創立50周年を記念して国際的な賞を新設し名称を本会創始者 俵国一博士の遺徳を讃える意味で「俵賞」と決定した。これに伴ない従来の俵賞は「俵論文賞」とした”との説明があつた。ついで湯川会長より受賞者各氏にそれぞれ表彰状ならびに賞牌, 賞金が授与された。

服 部 賞	田地川健一君
香 村 賞	池田 正君
俵 論 文 賞	館 充君
	中根 千富君
	金 鉄祐君
	鈴木 吉哉君
渡 辺 三 郎 賞	磐城 恒隆君

渡 辺 義 介 賞  
渡 辺 義 介 記 念 賞

伊藤 隆吉君  
青山 芳正君  
池田 重良君  
石原 重利君  
植木 久君  
川口 三郎君  
久能 一郎君  
佐藤 良吉君  
塩谷 周三君  
相馬 胤和君  
平 修二君  
竹中 哲哉君  
津田 信二君  
中川 龍一君  
永石 六雄君  
山川 正治君

なお、今回は50周年記念式典の関係上、表彰記念特別講演会は取りやめとなり、各賞受賞者には記念論文の執筆を依頼して、本誌に掲載いたしました。

### 第 69 回 講 演 大 会

4月5日(月)、6日(火)、7日(水)の3日間、東京大学工学部2号館、3号館において製鉄、製鋼、加工、性質など専門別8会場にわかれて開催された。

今回は創立50周年記念式典に参加のため来日したインド国立冶金研究所の A. B. Chatterjea 氏より「低シャフト炉における非粘結炭による鉄の製造」の講演が行なわれた。また講演発表は202件という春季大会としては最高件数にのぼり、各会場ともほとんど満員に近い盛況であった。

### 見 学 会

創立50周年記念行事、第69回講演大会も無事終了した。4月8日(木)、日本金属学会と合同で見学会を行な

った。花曇りの天気であったが、品川、新宿、上野の3集合地点より9班にわかれ、川崎製鉄(株)千葉製鉄所ほか14カ所の工場、研究所を訪問、懇切な説明ののち工場設備の見学を行ない、また意見の交換を行なった。

なお、第1班、第3班、第8班、第11班、第12班の見学は都合により取りやめとなつた。

第2班 東京電力(株)千葉火力発電所  
川崎製鉄(株)千葉製鉄所

第4班 志村化工(株)本社工場  
東芝製鋼(株)本社工場

第5班 八幡鋼管(株)東京工場  
萱場工業(株)東京工場

第6班 日産自動車(株)追浜工場  
(鎌倉周遊)

第7班 いすゞ自動車(株)川崎工場  
東京製綱(株)川崎工場

第9班 キヤノンカメラ(株)玉川工場  
八幡製鉄(株)東京研究所

第10班 日本鋼管(株)水江製鉄所  
日本石油(株)中央技術研究所

第13班 富士製鉄(株)中央研究所  
(相模湖周遊)

第14班 鉄道技術研究所  
(武蔵野周遊)

### 展 示 会

4月5日から4月7日までの3日間、日本金属学会と共催で、東京大学工学部4号館において展示会が開催された。この展示会も春季大会の恒例の行事となり、今回も光学計測、分析器機メーカー28社が約40テーブルを使用、機械の実演を含め新製品、什器などを展示、会場が不案内なところもあつたが、多数の参観者が熱心に展示物に見入りまた説明に耳を傾けていた。